
Wars: The Clone Wars Original Saga Part1

海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Star Wars : The Clone Wars Or
iginal Saga Part 1

【Nコード】

N9062P

【作者名】

海

【あらすじ】

遠い昔、遙か彼方の銀河系で・・・

ジェダイ聖堂で起きたデータ盗難事件。

犯人のスパイを追っていた二人のジェダイは、壮大な陰謀に巻き込まれることとなる。

(前書き)

この小説の設定は、映画六部作に準じます。

小説やコミックスなどのジョージ・ルーカスが関わっていない作品の設定は採用しません。

アナキンなどの既存のキャラクターはほとんど登場しません。

二人のジエダイが、タトウイーンの砂漠地帯を歩いていた。

「いつまで歩きつづけるのでしょうか？」

若い方のジエダイが聞いた。

性別は男。歳は十代で、茶色の髪の毛の三つ編みが、この少年がパダワ
ンだということ物語っている。

「それは・・・スパイが見つかるまでだ」

ケル・ドアのジエダイ・マスターが答えた。

性別は男。落ち着いた雰囲気、様々な試練を乗り越えてきたこと
がわかる。

「しかし、この広大な砂漠で、スパイが見つかりますか？」

「マスター・グラヴァスに我慢強くなれといわれなかったのか？キ
ール」

ジエダイマスターはパダワンのキールに言った。

「それは・・・」

キールはうつむいた。

「まあよい。それより、今回の事件は少し裏がありそうだ・・・」

「裏とはなんですか？マスター・グルー」

キールは顔をあげ、グルーに聞いた。

「それはまだわからん。だが、何かある」

グルーはあごに手を当て言った。

二人は歩きつづけたが、突然、グルーが立ち止まった。

「キール」

「わかつてます」

キールも立ち止まると、二人は同じ場所を見た。

二人から少し離れた砂山に、人影が見えたのだ。

「スパイでしょうか？」

キールの問いに、グルーは答えない。

不満そうなキールに、グルーは静かに言った。

「行くぞ。お前は右、私は左だ」

キールはうなずくと、歩き出した。

グルーはキールとは逆の方向に歩き出した。

相手は気づいていない。

グルーとキールはほぼ同時に走り出した。

砂山の後ろにまわると、そこには防具を装備した男が立っていた。

スパイだ。

「お前は！？」

「ジエダイだ！」

キールはそう言うと、ライトセイバーを取り出した。

青色の光刃がスパイの喉元に突きつけられる。

「おいおい……。乱暴は……」

スパイは右手を腰のところへやり、何かを作動させた。

「動くな！」

キールはそう言ったが、何かが作動したことには気づいていなかった。

た。

「何故ジエダイ聖堂からデータを盗んだ？」

キールはスパイに詰め寄った。

「それを言うとしても？」

スパイは下品に笑う。

「言ってもらおう」

グルーがスパイの背後から言った。

「そうか……。でも、少し遅かったな！」

スパイがそう言った数秒後、ドロイデイカが三体現れた。

「そういうことが……」

グルーはそう呟くと、緑色の光刃のライトセイバーをかまえた。

ドロイデイカはシールドをはると、ブラスターで攻撃してきた。

「まずいです！」

キールはライトセイバーで防ぎながら、言った。

「キール！スパイはどこだ！？」

グルーに聞かれ、キールは周囲を見たが、スパイはいつのまにか逃げていた。

「しまった！逃げられたか・・・」

キールは舌打ちすると、グルーを見た。

「退きましよう！」

グルーはうなずくと、フォースで砂嵐をおこした。

ドロイデイカが砂嵐から抜け出すと、二人のジェダイは消えていた。

コルサントのジェダイ聖堂に戻ったキールとグルーは、評議会に結果を報告し、格納庫を訪れていた。

「私達にできることはないのでしょうか？マスター・グルー」

「マスター・ヨーダが言っていただろう。この件はスカイウォーカーが調べる」

キールはうなずくも、不満そうだ。

グルーはデルタ7・スターファイターに乗り込むと、キールに言った。

「とりあえずグラヴァスの元へ戻れ。私は調べたいことがある」

「わかりました」

キールはグルーを見送ると、格納庫を出て行った。

(後書き)

キール・クラウス

階級・パダワン

光刃・青色

愛機・デルタ7B・イーススプライト級ライト・インターセプター

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9062p/>

Star Wars: The Clone Wars Original Saga Part1

2011年3月9日17時11分発行